

# みず



えほんいろいろ No. 174

2026年 6月 富田林市立図書館

## あめ

イブ・スパング・オルセン／著  
ひだに れいこ／訳  
亜紀書房 (2017年)



おおつぶの<sup>あめ</sup>雨がふる日、  
シャロツテは、<sup>あま</sup>雨つぶのバラバラとポトポトにであいました。ふたりは空から<sup>そら</sup>ふったり、空にのぼっていったり……、雨つぶの<sup>たい</sup>大ぼうけんをきかせます。それからというものシャロツテは雨がふると、ふたりのことをおもいだすのです。

## うみべのいちにち

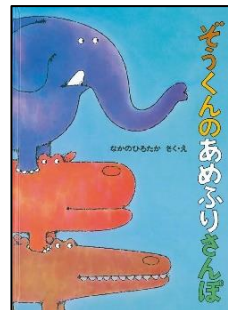
ナタリー・チュアル／作  
イリヤ・グリーン／絵  
とき ありえ／訳  
講談社 (2010年)



うみにきたロラとレオは、かいがらやこいしでかざったおしろをつくりました。そのうちすいめんがたかくなり、おしろはみずにかくれました。やがてみずがひき、すなはまにあらわれたおしろのてっぺんに、ロラはあるものをみつけます。ふたりがうみべですごしたすてきないちにちのおはなしです。

## ぞうくんのあめふりさんぽ

なかの ひろたか／作・絵  
福音館書店 (2006年)



きょうはあめ。ごきげんのぞうくんは、かばくんとおいけでさんぽです。およげないぞうくんは、かばくんのせなかにのせてもらいました。かばくん、おいけのなかではちからもち！そこに、わにくんとかめくんがやってきました。みんなおいけのなかではちからもち？

## ピッキーとポッキーのかいすいよく

あらしやま こうざぶろう／ぶん  
あんざい みずまる／え  
福音館書店 (2010年)



うさぎのピッキーとポッキーは、いかにのってかいすいよくにでかけます。よりみちをしながらすなはまにつきます。およいでいるとおおきなたこがあらわれ、とばされてしまいました。みんなは、かいすいよくをたのしむことができるでしょうか。

## かわ

鈴木 のりたけ／著  
幻冬舎 (2010年)



かわの水は、<sup>やま</sup>山に<sup>あめ</sup>雨が<sup>ふ</sup>降り  
<sup>いわば</sup>岩場を<sup>くだ</sup>って<sup>なが</sup>小さな流れに  
なったものです。その流れが<sup>ひく</sup>低い<sup>ばしょ</sup>場所へあつまり、  
<sup>おお</sup>大きな流れが<sup>う</sup>生まれます。かわのはじまりから<sup>うみ</sup>海  
に流れるさかいめまで、12の場所があります。  
それぞれ、どのような生きものや<sup>い</sup>しょく<sup>み</sup>ぶつが  
みられるかしらべてみましょう。

## 若がえりの水 日本の民話えほん

川村 たかし／文  
梶山 俊夫／画  
教育画劇 (1996年)



むかしむかし、やまおくにまよいこんだじさまが、わき水を見つけるとくちのんだところ、わかものになりました。つぎのひ、じさまをまたず水のみでいったばさまは、わかきれいになってたくて、たくさん水をのんだので、あかごになってしまいました。